

第 1 回 山梨県自転車活用推進計画策定委員会

平成30年 10月11日(木)

自転車に関わる現状



- 県では『山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）』を平成28年3月に策定しており、多様な観光資源を有する富士北麓地域での広域的な周遊観光の促進に取り組んでいる。
- 高い山に囲まれた地勢を活かしたスポーツツーリズムにも取り組んでおり、県全体でサイクリストの期待に応えられるよう、ハードとソフト両面で魅力づくりなどの環境整備を進めている。

【山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）】

- 富士北麓地域において自転車による広域的な周遊観光を促し、個性ある観光地として確立させ、来訪者の増加により地域活性化を図ることが目的
- 自転車利用の環境を向上させるためのハード・ソフト両面からなる各種施策方針を示すもの

自転車利用環境の向上

自転車走行環境の向上

案内誘導の充実

自転車観光の受け入れ環境の充実

多様なPRの展開

ハード対策

- ・ 矢羽等の路面標示を用いた自転車走行位置の明示
- ・ 自転車用の案内誘導法定外標識の設置
- ・ 注意喚起法定外標識の設置
- ・ 簡易駐輪施設の設置や休憩施設の整備

ソフト対策

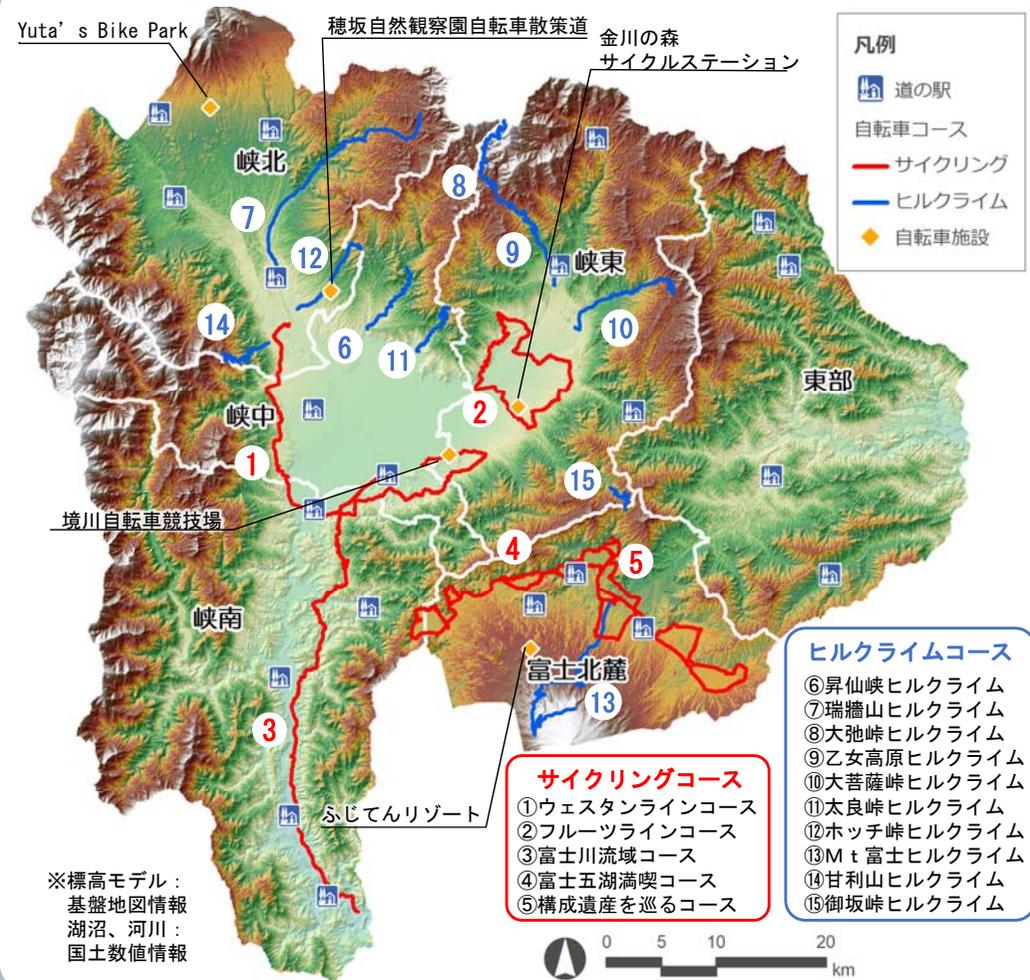
- ・ 乗り捨て可能なレンタサイクルシステムの構築
- ・ ルートの路面状況等をホームページで周知
- ・ 道の駅と連携したサイクリングステーション機能の充実
- ・ サイクリングマップの発行や各種メディアによるPRの展開

参考：山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）

【スポーツツーリズム】

- 富士山、南アルプス、八ヶ岳、大菩薩嶺などの高い山々に囲まれている山梨県は、山を舞台としたスポーツを楽しむのに最適である
- 山梨県内各地でヒルクライム等の大会や自転車イベントが行われている
- 山梨県ではウェブサイトを構築し、ヒルクライム・サイクリング・BMX・マウンテンバイクのイベントやコースを観光資源とともに紹介し、スポーツツーリズムの振興を図っている

【山梨県が紹介している自転車コース】



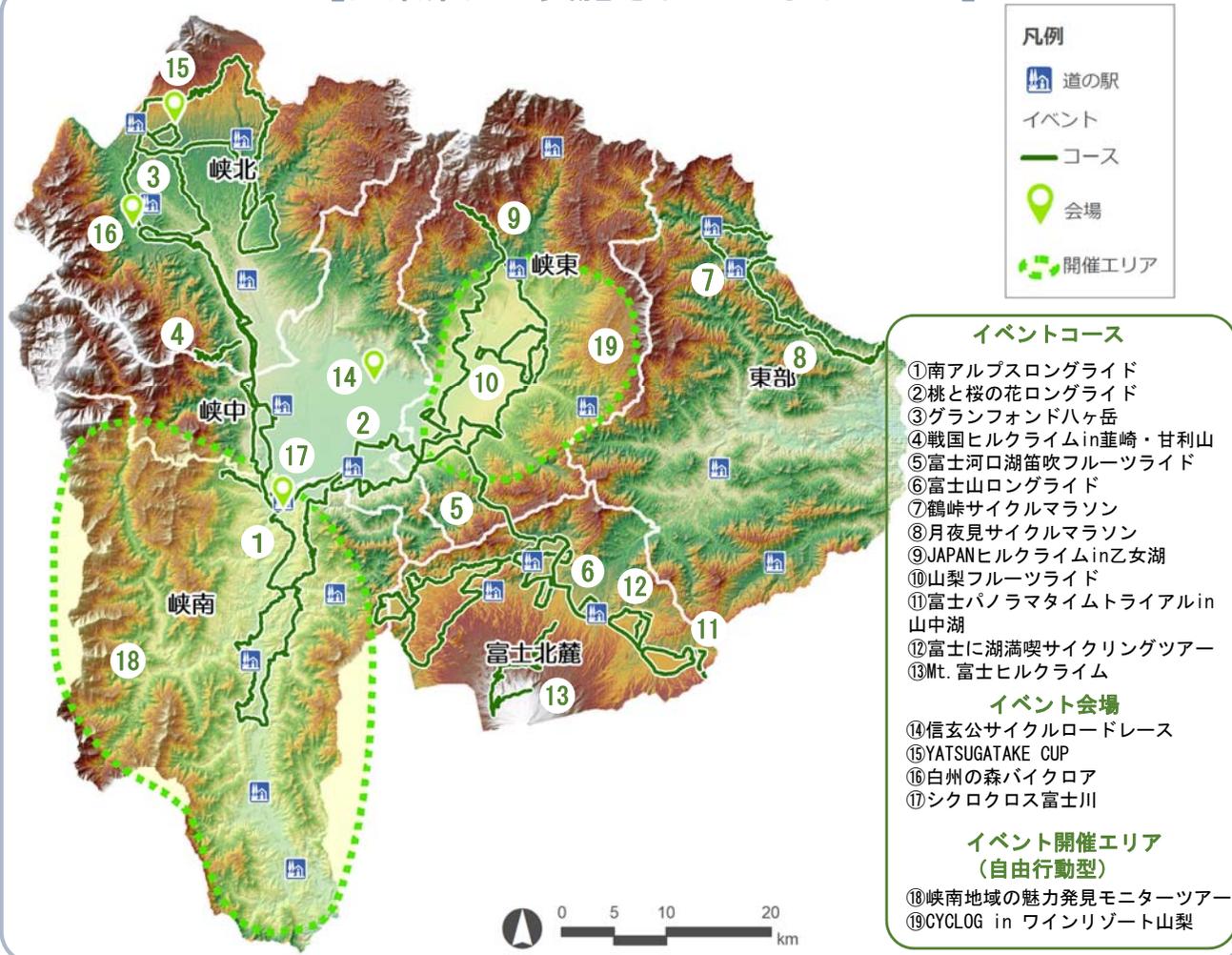
※標高モデル：
基盤地図情報
湖沼、河川：
国土数値情報

出典：やまなしスポーツツーリズム 富士の国やまなしを全力で走る+HP



- 各市町村において、すでに自転車に関連するイベントやロードレースが複数開催されているが、東京オリンピックではロードレースのコースに選定されており、県内の自転車熱は今度さらに高まることが期待できる。
- 笛吹市の境川自転車競技場、北杜市のYBPといった自転車競技を楽しむ施設を有しており、イベントを通じて、自転車競技に関心がある利用者の取り込みが見込まれる。

【山梨県内で実施されているイベント】



【東京オリンピック 自転車ロードレース 開催決定】

- 第32回オリンピック(2020/東京)における自転車ロードレースのコースが、山梨県の道志村・山中湖を経由するコースに決定した



出典 (画像) : 山梨県HP

【自転車競技環境】

- ロードレースの他にも、北杜市には世界基準のBMXレースコース「Yuta's Bike Park (YBP)」、笛吹市には公益財団法人日本自転車連盟公認の「境川自転車競技場」があり、自転車競技が行われている



YBPのプロ向けBMXコース



境川自転車競技場

出典 (画像) : YBP HP, 山梨県教育委員会HP



- 県内ではシェアサイクル等が展開されており、観光地などで利活用されている。
- 今後、観光のみならず、県民の通勤、通学利用などの多様な利用目的に応えられるよう展開することが考えられる。

【山梨県内で利用できるシェアサイクル等】

地域	市町村	実施事業	貸出場所
峡中	甲府市	甲府市レンタサイクル	甲府市内の宿泊施設7箇所
		幼児二人同乗用（3人乗り）自転車レンタル事業	（子育て支援のため1年間のレンタル）
峡北	韭崎市	韭崎市レンタサイクル	韭崎市民交流センター内地域情報発信センター
	北杜市	KIYOSATO EASY-CYCLE	北杜市 清里駅前総合観光案内所あおぞら
峡南	富士川町	レンタサイクル@道の駅富士川	道の駅富士川
峡東	笛吹市	遊湯Yu-Yuレンタサイクル	笛吹市石和温泉エリアの2箇所
		石和温泉レンタサイクル	笛吹市石和温泉エリアの2箇所
	山梨市	山梨市レンタサイクル	山梨市 街の駅やまなし
	甲州市	甲州市レンタサイクルぐるりん	甲州市内3箇所の自転車ポート
富士北麓	富士河口湖町	レンタサイクル	富士河口湖町内のサイクリングステーション
		※(一社)富士国際観光協会	(18箇所貸し出し、22箇所で乗り捨て可能)
	(参考)サイクルアクティビティBonVelo(ボンヴェロ)	富士河口湖町内1箇所（貸自転車e-bike等を使用）	
富士吉田市	モバイク バイクシェアリング	富士急行の施設17箇所にポート設置	
	※富士急行と中国のモバイクが提携して実施		
	県立富士北麓駐車場 観光案内所 レンタサイクル	県立富士北麓駐車場 観光案内所	

※他に、宿泊施設、キャンプ場、サイクルショップ等民間の実施するレンタサイクルが各所にあり

【事例1】レンタサイクル@道の駅富士川

- 道の駅富士川ではNPO法人 やまなしサイクルプロジェクトと協力して、山梨県のサイクリング拠点となることを目指している
- その一環として、スポーツ自転車を気軽に楽しんでもらえるよう道の駅富士川でスポーツ自転車のレンタルを実施
- 専門スタッフの乗り方指導や道の駅周辺のコースの紹介も行っている



PR画像

参考・出典（画像）：NPO法人 やまなしサイクルプロジェクトHP

【事例2】県内のシェアサイクル

甲州市レンタサイクル「ぐるりん」

- 甲州市はドコモのバイクシェアシステムを利用したレンタサイクルを提供している
- ポートは甲州市役所・勝沼駅・塩山駅の3箇所に設置

参考：ぐるりん) ぐるりんHP

モバイクバイクシェアリング

- 富士急行と中国のモバイクが提携し、富士北麓地域にシェアサイクルを展開
- 富士急行の駅やホテル等の施設17箇所にポートを設置



- 自転車事故のない安全で安心な環境整備の一環として、交通安全教育は重要である。
- 県の交通安全基本計画でも、交通安全思想の普及徹底が重点施策として挙げられており、学校での教育や家庭や地域、関係機関と連携の下でより一層の取組みが必要と考えられる。

【山梨県内で実施されている交通安全事業】

地域	市町村	事業名	概要
山梨県全域	-	自転車運転者講習制度	危険行為を3年以内に2回以上反復した者に対して、自転車講習の受講を義務づけ（H27.6.1~全国）
		交通安全教育	山梨県総合交通センター学習ルーム・体験コースの整備・運営
		交通安全教育	交通安全教育車「さちかぜ号」による巡回交通安全教室の実施
		交通安全子供自転車山梨県大会	学科テストや走行テストにより、小学校単位で成績を競う
峡中	甲府市	交通安全教室の開催	交通安全指導員（交通指導員）を小学校に派遣し、交通安全教室の実施
	甲府市	甲府市交通安全計画の策定	
	中央市	専門交通指導員による交通安全教育の実施	三村小、田宮小：校庭で実施（安全協力） 玉穂南小、田富南小、豊富小：県総合交通センターで実施 田富北小：独自で実施
峡北	韭崎市	韭崎市交通安全計画の策定	
	北杜市	北杜市交通安全計画の策定	
峡南	南部町	自転車教室	南部警察と連携し、小学生を対象とした自転車教室を実施
峡東	笛吹市	専門交通指導員による交通安全教育の実施	
東部	都留市	交通安全教室	小学校、警察、安全協会が協力して児童向けに安全教育の授業を実施
		都留市交通安全計画の策定	
富士北麓	富士吉田市	富士吉田市交通安全計画の策定	
	富士吉田市	交通安全教室	交通安全教室において、対象学年に応じた自転車の乗り方等をDVD教材やパワーポイントを用い指導
	富士吉田市	啓発活動協力依頼	近隣高等学校（4校）に対し、自転車利用者へのルール順守徹底の啓発活動協力依頼
	鳴沢村	交通安全教室の開催	小学校で交通安全教室の開催

【事例1】富士吉田市の交通安全教室

- 幼稚園児・学童（小学生）・高齢者、それぞれに向けた交通安全教室を開催
- 幼稚園児は紙芝居や人形劇、学童は間違い探しやDVD、高齢者はDVD、安全新聞など、各年代に合わせた方法で交通安全を啓発
- 学童交通安全教室ではDVD教材などを用いて自転車の乗り方について指導



学童交通安全教室の様子

参考・出典（写真）：富士吉田市HP

【事例2】民間による交通安全教育の活用

おうち00-0Pの交通安全教室

- 県内の小学校や高齢者施設では、生活協同組合ユーコープが神奈川・静岡・山梨の3県で展開する交通安全教室を開催している事例がある



甲府市立湯田小学校の放課後児童クラブで開催された交通安全教室の様子

「トラックの死角体験」「横断歩道の渡り方」「自転車の飛び出し・巻き込み」の3本のプログラムを体験

参考・出典（写真）：生活協同組合ユーコープ プレスリリース



- 県内各地において、道の駅との連携や観光による地域活性化を目指した取組みが展開されている。
- 甲府市では、県や市の施設に「サイクル・アンド・ライド」駐輪場を設け、最寄りのバス停や駅までは自転車を利用し、バスや電車に乗り換えるといった公共交通との連携が図られている。

【山梨県内で実施されている自転車に関する施策】

地域	市町村	実施施策	
山梨県全域	-	"人と環境にやさしい交通"県民運動	
		やまなしエコ通勤トライアルウィーク	
峡中	甲府市	KOFU Cycle & Ride	
		イオンモール甲府昭和のパーク&バスライド	
	中央市	道の駅との連携	
	南アルプス市	道の駅との連携	
峡東	甲州市	道の駅との連携	
		山梨市	桃の花散策マップ
			ゆるキャン△×山梨市 聖地巡礼MAP
			フルーツラインサイクリングマップ
			道の駅との連携
峡南	市川三郷町	富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト	
	南部町	富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト	
		道の駅との連携	
	早川町	富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト	
	富士川町	富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト	
		道の駅との連携	
	身延町	山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）	
		富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト	
道の駅との連携			

地域	市町村	実施施策
峡北	韮崎市	穂坂自然観察園自転車散策道の整備 道の駅との連携
	北杜市	道の駅との連携
東部	大月市	自転車スタンドプロジェクト
	小菅村	道の駅との連携
	丹波山村	道の駅との連携
	都留市	道の駅との連携
	道志村	道の駅との連携
	富士北麓	忍野村
山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）		
鳴沢村		富士五湖観光サイクリングマップ
		山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）
		道の駅との連携
西桂町		山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）
富士河口湖町		富士五湖観光サイクリングマップ
		山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）
	道の駅との連携	
富士吉田市	富士五湖観光サイクリングマップ	
	山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）	
	道の駅との連携	
山中湖村	富士五湖観光サイクリングマップ	
	山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）	

【事例1】KOFU Cycle & Ride

- 甲府市は路線バス停留所に近接する県や市の施設等に、「サイクル・アンド・ライド」駐輪場を設置し、自転車で駐輪場へ来てバスに乗り換えるシステムを推進
- 自家用車から切り替えることで、バス利用の促進、CO₂削減、渋滞緩和、放置自転車の減少、健康増進等の効果が期待される



参考・出典（マーク）：甲府市HP

【事例2】富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト

- 中部横断自動車道の開通に伴うストロワー現象が懸念され、富士川流域5町によって観光による地域活性化の方策としてプロジェクトが立ち上がる
- サイクルコースを設定し、立ち寄り情報とともに紹介



サイクリングの様子
（身延町久遠寺）

参考・出典（写真）：富士川流域サイクルエリア創設プロジェクトHP



- 近年の大災害を背景に、自転車の持つ災害時の移動手段としての利便性が見直されている。
- 災害時の正しい自転車利用方法の普及、災害時に利用可能な公用自転車の導入検討なども必要である。

【災害時におけるシェアサイクル利用の推進事例】

—— 災害時におけるシェアサイクルの活用（東京都品川区） ——

品川区は（株）ドコモ・バイクシェアと、災害時におけるシェアサイクルの使用等に関する協定をH30年9月1日に締結した。

災害時の初動および復旧活動の効率化のため、応急活動等に係る区の職員が緊急移動手段としてシェアサイクルを活用することができる。



出典：品川区HP

近年の災害時には、シェアサイクルが活躍

平成30年6月大阪北部地震

「HELLO CYCLING」を運営するOpenStreet株式会社は、交通機関の混乱を受け、11のステーションで自転車が無償貸し出した。また「大阪バイクシェア」を運営するドコモ・バイクシェアは発生当日でも利用料無料の措置をとった。

平成30年7月西日本豪雨

JRの運休を受け、広島市はシェアサイクル「ぴーすくる」を通勤・通学的手段として活用するために、JR安芸中野駅に臨時ポートを設置し活用、また避難所にも臨時ポートを設置し避難者の移動手段として活用した。

【災害時の自転車の利点】

- ・ 自動車と異なり、ガソリンや電力を必要としない
- ・ 自動車と異なり、駐車スペースを取らない
- ・ 自動車と異なり、免許を必要としない
- ・ 自動車よりも、小回りが利く
- ・ 徒歩よりも、移動範囲が広がる



災害時の移動手段となる

【災害時に役立つ自転車】

機能性自転車



出典：リキシャタンクHP

2011年の東日本大震災のあと開発された災害時に必要と思われる各種機能が盛り込まれた自転車。

- ・ 泥道での走行を可能にする極太タイヤ
- ・ 10Lタンク×2本のポリタンクを運べる設計
- ・ 電池の充電が可能 等



- 医療費削減が国や自治体の共通課題となり、住民の健康づくりの活動にインセンティブで行動変容を促す活動が行われている。
- 自転車に乗ることによる健康効果の研究や周知の強化、健康増進を応援する仕組みづくり 等が必要である。

【自転車に乗ることの健康効果の周知資料】

（一社）日本自転車普及協会の事例



日本自転車普及協会では、健康的な自転車の利用を広報・啓発することを目的に、健康効果をまとめた「自転車に乗って健康になる」を発行している。

出典：一般社団法人日本自転車普及協会「自転車に乗って健康になる」パンフレット

【高齢者の自転車活用による健康増進】

アクティブシニアスポーツサイクル体験会（愛媛県）

愛媛県では、スポーツサイクリングを通じた介護要らずの健康づくり、趣味としての生きがいづくり、仲間との友情づくりを育んでもらい、明るい長寿社会の構築に寄与するとともに、高齢者層における自転車新文化の普及を目指し、スポーツサイクルの体験会を行っている。



出典：愛媛県自転車新文化推進課HP

【自転車活用による健康増進を応援する仕組み】

京都市「いきいきポイント」



毎日取り組む目標を設定し、実践することでポイント（1日実践ごとに1ポイント）を貯められ、50ポイント以上で自転車等が当たる抽選に応募できる。



出典：健康長寿のまち・京都HP

複数自治体連携型大規模健幸ポイントプロジェクト



広域連携6自治体および筑波大学らとともに健康づくり無関心層の行動変容を促す施策としてインセンティブ付きの健幸ポイントを平成26年度より3年間の実証事業として開始。

出典：つくばウエルネスリサーチHP



- 行政では温室効果ガス排出量の削減を主目的とした「公用自転車」の導入が全国的に見られ、民間においても「業務用自転車」を導入する事例が見られる。
- 山梨県ではおおむね2050年に県内の二酸化炭素排出量をゼロとする「CO₂ゼロやまなし」の実現を目指しており、公用自転車の導入等、多方面での自転車活用により、二酸化炭素の排出量削減に寄与すると考えられる。

【公用自転車(共用自転車)の導入】

山梨県の事例

目的

省エネや地球温暖化対策の一環として、近場への用務に使用いただけるよう設置

活動範囲

県庁から概ね半径2km程度

自転車の出自

県庁構内の放置自転車から程度の良いものを活用（現在は8台導入）



出典：山梨県

【業務用自転車】

ヤマト運輸の電動アシスト付き自転車

ヤマト運輸では、できるだけ車両を「使わない」「使うならエコ」な車両、徹底して「使い方」にこだわるという3原則でCO₂削減に取り組んでいる。

ヤマト運輸が開発協力した電動アシスト付自転車「パス ギア カーゴ」はヤマハ発動機より2013年11月に発売され、運送業における自転車の利用拡大にも寄与している。

【パス ギア カーゴ：リアカー付き3輪電動アシスト自転車】



出典：ヤマト運輸